

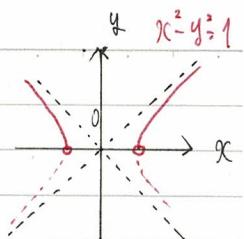
2015年 東大理系数学 第1問

$$C: y = ax^2 + \frac{1-4a^2}{4a} \text{ が}$$

$a > 0$ で通過する領域

通過領域
といふたう
解の配置

よし。右図の赤色の実線部分



$$y = ax^2 + \frac{1-4a^2}{4a} \text{ を } a \text{ で降べきの順に整理した。}$$

$$4(x^2 - 1)a^2 - 4ya + 1 = 0 \quad \cdots (*)$$

a の2次方程式では限るね。

が、 $(*)$ は少なくとも1つの実数解を持つことは、
 x, y の条件。

と書き換えて解く。

(i) $x^2 - 1 = 0$ の場合。(*) が1次方程式の場合、

$$(つまり) x = \pm 1$$

$$(*) \Leftrightarrow -4ya + 1 = 0 \quad y = \frac{1}{4a} > 0 \quad \begin{matrix} a > 0 \text{ で} \\ \text{常に } \frac{1}{4a} \text{ の値域} \end{matrix}$$

よし。 $x = \pm 1$ が、 $y > 0$

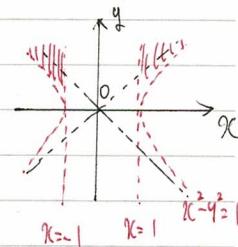
(2) $D > 0$ かつ $d+\beta > 0$ かつ $d\beta > 0$ となればよい。

$$D > 0 \Leftrightarrow x^2 - y^2 > 1$$

$$d+\beta > 0 \Leftrightarrow -\frac{-4y}{4(x^2-1)} > 0 \Leftrightarrow y(x^2-1) > 0$$

$$d\beta > 0 \Leftrightarrow \frac{1}{4(x^2-1)} > 0 \Leftrightarrow x^2 - 1 > 0$$

よし。右図の赤色の領域



(ii) $x^2 - 1 \neq 0$ の場合。(*) が2次方程式の場合

$a > 0$ は少なくとも1つの実数解を持つのは、

(1) $a > 0$ は重解を持つ。

(2) $a > 0$ に異なる2角解を持つ。

(3) $a > 0$ で $a \leq 0$ は1解ずつ持つ
の3通り。

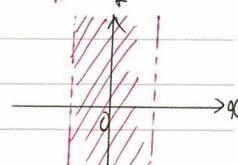
(3) $d\beta \leq 0$ となればよい。

$$d\beta \leq 0 \Leftrightarrow \frac{1}{4(x^2-1)} \leq 0 \Leftrightarrow x^2 - 1 \leq 0$$

$$x^2 - 1 \neq 0 \text{ たゞく。} x^2 - 1 < 0$$

$$x = -1 \text{ と } x = 1$$

よし。右図の領域



(i) と (ii) が (1) ～ (3) の結果から、

求める領域は

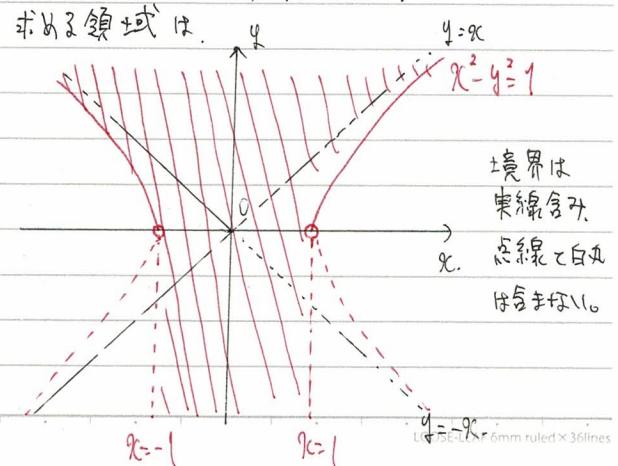
(1) $D = 0$ かつ (重解) > 0 となればよい。

$$\cdot D = 0 \Leftrightarrow (-4y)^2 - 4 \cdot 4(x^2 - 1) \cdot 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow x^2 - y^2 = 1$$

$$\cdot (\text{重解}) = \frac{-(-4y)}{2 \cdot 4(x^2-1)} > 0 \Leftrightarrow \frac{y}{x^2-1} > 0$$

$$\Leftrightarrow y(x^2-1) > 0$$



境界は
実線含み、
点線で白丸

は含まれない。